

おやこであそぼう ～ 絵本と、わらべうたの時間 ～

2016年 9月21日

☆今日の絵本・紙芝居

たかいたかい (ポプラ社) 作: 磯みゆき / 絵: かいちとおる
パパ、お月さまとって! (偕成社) 作・絵: エリック・カール
おおきなぼうし (教育画劇) 作・絵: 木曾秀夫 (紙芝居)

☆紹介絵本

たかいたかい (福音館書店) 作・絵: 柚木沙耶郎
たかいたかい (徳間書店) 作・絵: ジェズ・オールバラ
たか～いたか～い (金の星社) 作: 内田麟太郎 / 絵: 本信公久
たかいたかいらいおん (徳間書店) 作: 八木田宣子 / 絵: 長新太
うさぎちゃんつきへいく (金の星社) 作・絵: せなけいこ
おつきさま こっちむいて (福音館書店) 作: 片山令子 / 絵: 片山健
いいきもち (こぐま社) 作・絵: ひぐちみちこ

☆わらべうた・童謡

♪うさぎ

うさぎ うさぎ
なにみて はねる
じゅうごやおつきさま
みて はねる



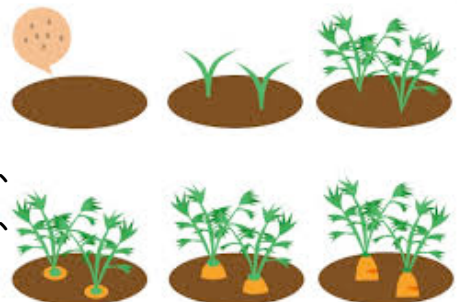
♪おつきさん

おつきさん おつきさん
なしゃ ほしゃ でっさんさん
じゅうごやさんから にくまれぼうで
それで ほしゃ でっさんさん
なんやろ かやろ
いけのはたの こぶくろう こぶくろう
うしろへおんもん だあいよ～～
ちりん からん ぽてっ

☆こころとからだのおはなし (3月のお話 新約聖書 ルカによる福音書18章5～8)

聖書では2015年3月に聞いたお話と同じ箇所です。少し聖書から離れて、タネのことを考えてみましょう!

穀物や野菜などのタネは、それぞれに相応しい土壌に蒔かれます。人が、適度な栄養がある良い土を作り、日照りの時には水をやり、あるいは日照りから守ったり、日々の行き届いた世話のもと、タネは芽を出し、成長し、花を咲かせ、やがて実を結びます。



野草のタネは、人や動物にくっついたり、風に乗ったり飛ばされたり、あるいは鳥に運ばれたりしますが、どんな場所に行くのか分かりません。落ち着いた場所は

芽を出すにも、芽を出せたとしても、成長するには困難な場所かもしれません。

特に、今は土よりもコンクリートやアスファルトで固められた地面が多いので、

その場所で実を結ぶのは、なかなか大変です。

でも、時々、こんなところに！？というような場所に、小さな芽が出ているのをご覧になったこと、ありませんか？

タネたちは、「あ～ こんな場所に来ちゃった」と嘆く
いとまもなく、与えられた場所に順応して、懸命に
生きようとするのでしょうか。そうして、一層強い品種が育ったりします。



子どもは、生まれた親の元が、一番の土壌です。さらに、その豊かな土壌に、かんかん照りの暑い日、雪降る寒い日、雨降る日も風の強い日も、絶え間なく降り注がれる、お家の方からの、愛情という栄養で成長します。

子どもは、お父さんやお母さんを選べません。でも、どの子も、選ばれた子どもです。時には野草のように、曲がり角で立ち止まってしまうかもしれません。こっちよと手招きしたり、道しるべとなったり、あとは子どもの選択に任せてみるのもいいですね。そうした、おうちの方の見守りのかなたに、必ず、子どもたちの素晴らしい未来が開けると思います。

4ヶ月検診の時に『ブックスタート』で絵本のプレゼントがあったと思います。
『ブックスタート』は1992年に、英国でタネが蒔かれ、様々な国で芽を出しました。
「すべての赤ちゃんに絵本を」の発案者であるウェンディ・クーリングさんが、今年、日本に初来日され、あちこちで講演をされました。その時の言葉をお届けします。

『本を読むのではなく、親子で分かち合うことが大切。』

難しく考えないで。赤ちゃんが好きなのは親の声を聞くことなのよ。』

どうぞ、お家の方も、絵本の時間に耳を傾けて、お子さんと一緒に楽しんでください。それが、わたしたちにできる、お家のかたへのプレゼントです。

次回は10月19日

お問い合わせ

クリスト・ロア修道会

Tel 042 (465) 8620

